

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：八王子市内全域
- (2) 調査対象：市内在住の満 20 歳以上の男女個人
- (3) 対象者数：3,000 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出）
 - ・層化…「八王子ゆめおりプラン」で示された本庁・事務所管轄区域に基づき、6 地域に区分する。（下の地域区分図参照）
 - ・地点抽出…各地域の調査対象人口（満 20 歳以上の男女）に応じて調査対象を配分する。調査対象に基づいて合計 100 地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。
 - ・対象者抽出…抽出された各地点において対象者数が 30 人となるように無作為系統抽出を行う。

【本調査における地域区分】

- 中央地域：本庁管内
西部地域：元八王子・恩方・川口
西南部地域：浅川・横山・館
北部地域：加住・石川
東南部地域：由井・北野
東部地域：由木・由木東・南大沢



- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収法
- (6) 調査期間：平成 17 年 5 月 19 日～6 月 9 日
- (7) 調査機関：(株) エスピー研

3. 調査項目

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境
- (3) 市政への要望
- (4) 防災対策について
- (5) 「市民参加のしくみづくり」について
- (6) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

4. 回収結果

対象者数：3,000人

有効回収数：1,706票（有効回収率56.9%）

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、「件数」として表示した。その比率は、件数を100%として算出した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析の軸（＝表側）として回答者の属性や設問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性の基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 本文やグラフの選択肢表記では、長文のものについては語句を省略していることがある。

(7) 標本誤差

標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）、および回答比率（P）によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b=標本誤差 N=母集団
n=比率算出の基数（サンプル数）
P=回答比率

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,706	±2.05	±2.74	±3.14	±3.35	±3.42
1,500	±2.19	±2.92	±3.35	±3.58	±3.65
1,000	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
500	±3.79	±5.06	±5.80	±6.20	±6.32
100	±8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

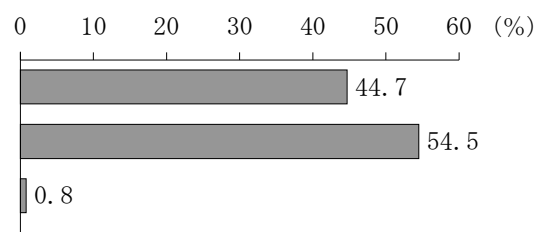
注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,706で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.35%以内（56.65%～63.35%）である」と見ることができる。

6. 回答者の属性

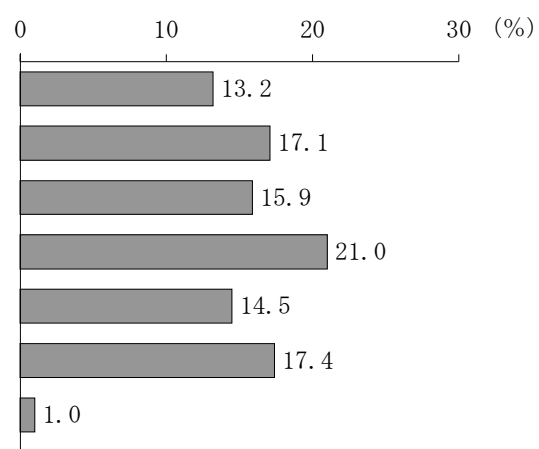
1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	763	44.7
2 女性	930	54.5
(無 回 答)	13	0.8
合 計	1,706	100.0

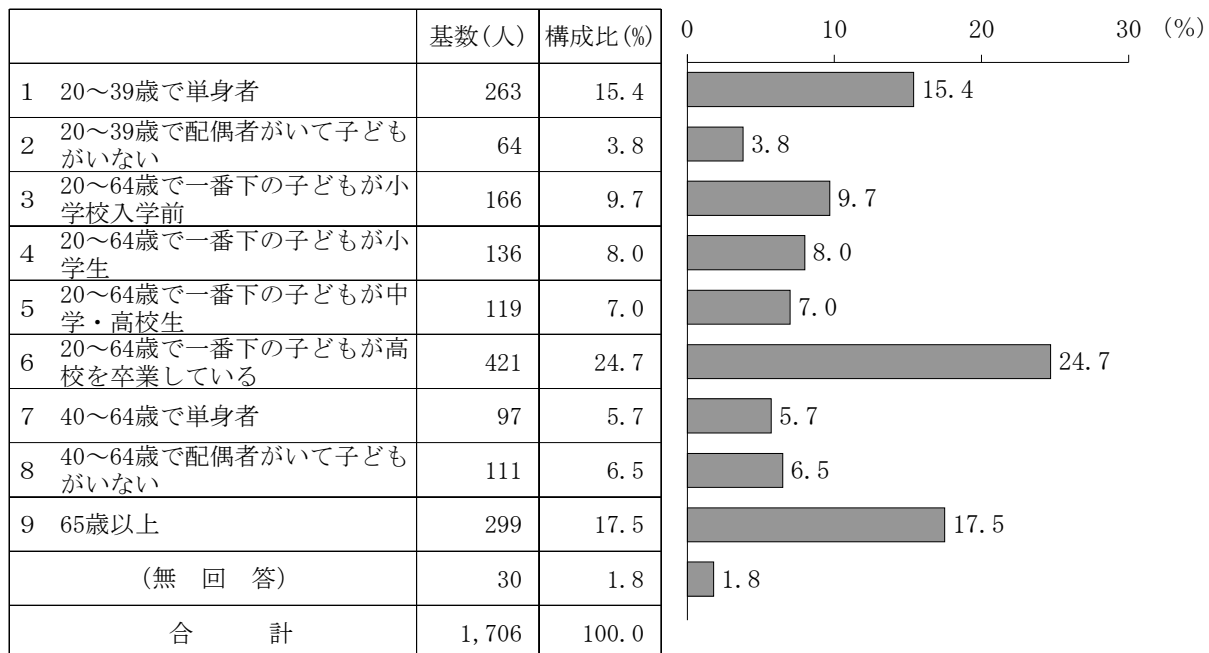


2 年齢

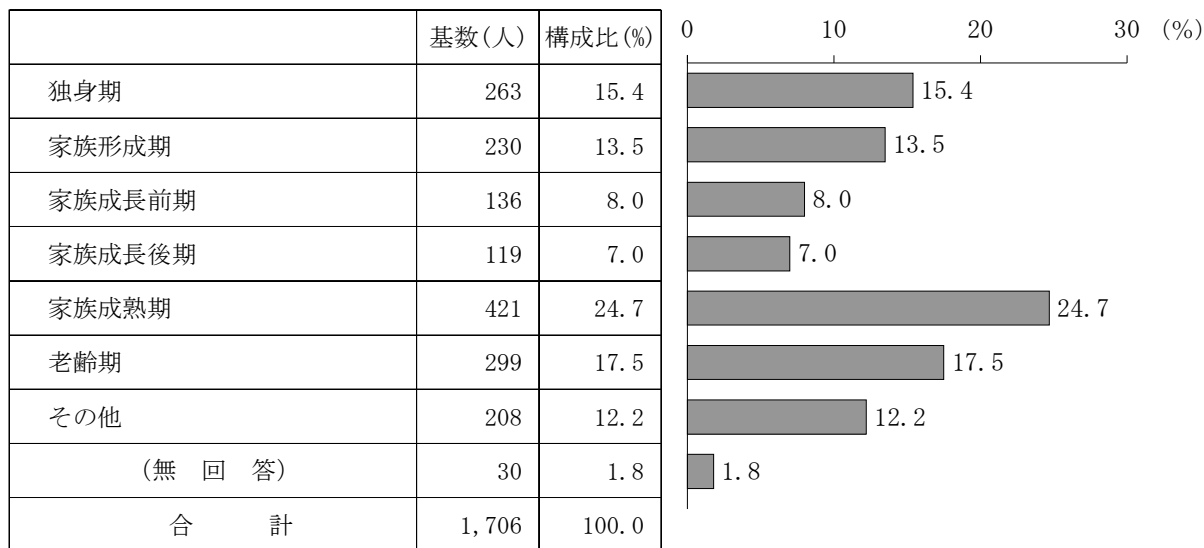
	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	225	13.2
2 30歳代	291	17.1
3 40歳代	271	15.9
4 50歳代	358	21.0
5 60～64歳	247	14.5
6 65歳以上	297	17.4
(無 回 答)	17	1.0
合 計	1,706	100.0



3 ライフステージ



■ ライフステージ (集約型)

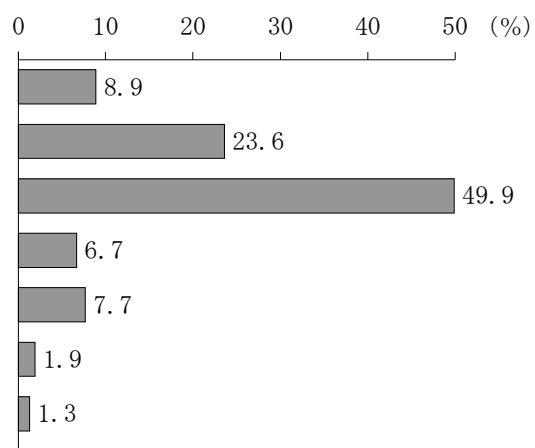


■ ライフステージ区分

独 身 期	20～39歳で単身者
家 族 形 成 期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家 族 成 長 前 期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家 族 成 長 後 期	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生
家 族 成 熟 期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老 齢 期	65歳以上
そ の 他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

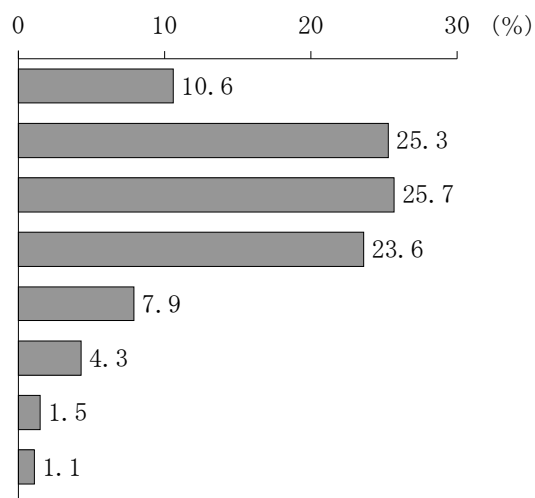
4 世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし (単身世帯)	151	8.9
2 夫婦のみ (一世代世帯)	402	23.6
3 親と未婚の子ども (二世代会世帯)	852	49.9
4 親と子ども夫婦 (二世代会世帯)	115	6.7
5 親と子どもと孫 (三世代会世帯)	132	7.7
6 その他	32	1.9
(無回答)	22	1.3
合計	1,706	100.0



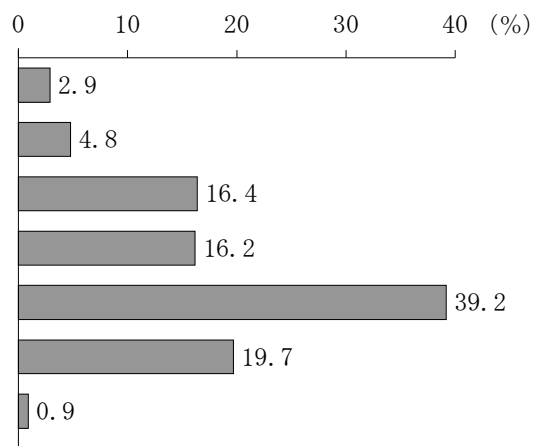
5 同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	180	10.6
2 2人	432	25.3
3 3人	439	25.7
4 4人	403	23.6
5 5人	135	7.9
6 6人	73	4.3
7 7人以上	25	1.5
(無回答)	19	1.1
合計	1,706	100.0

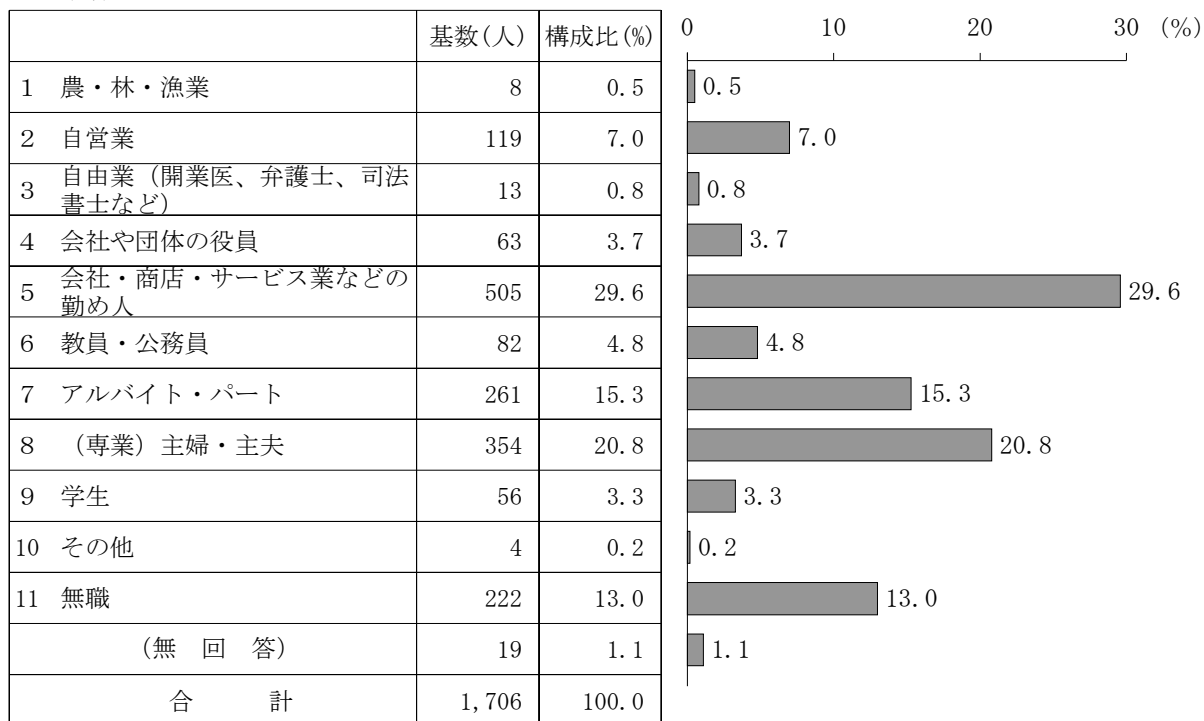


6 居住年数

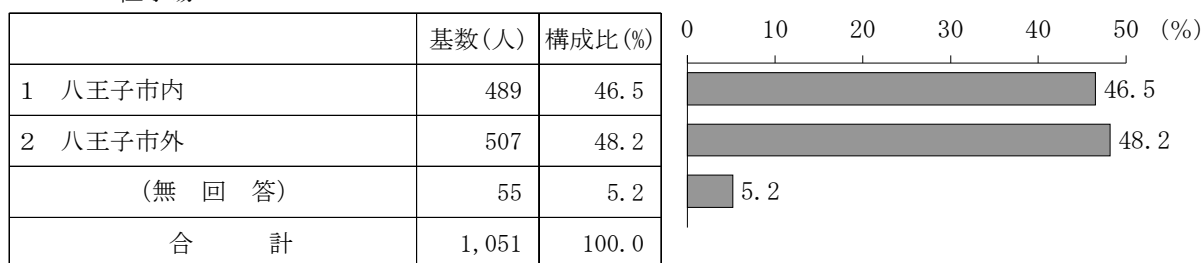
	基数(人)	構成比(%)
1 1年未満	50	2.9
2 1～3年未満	82	4.8
3 3～10年未満	279	16.4
4 10～20年未満	276	16.2
5 20年以上	668	39.2
6 生まれてからずっと	336	19.7
(無回答)	15	0.9
合計	1,706	100.0



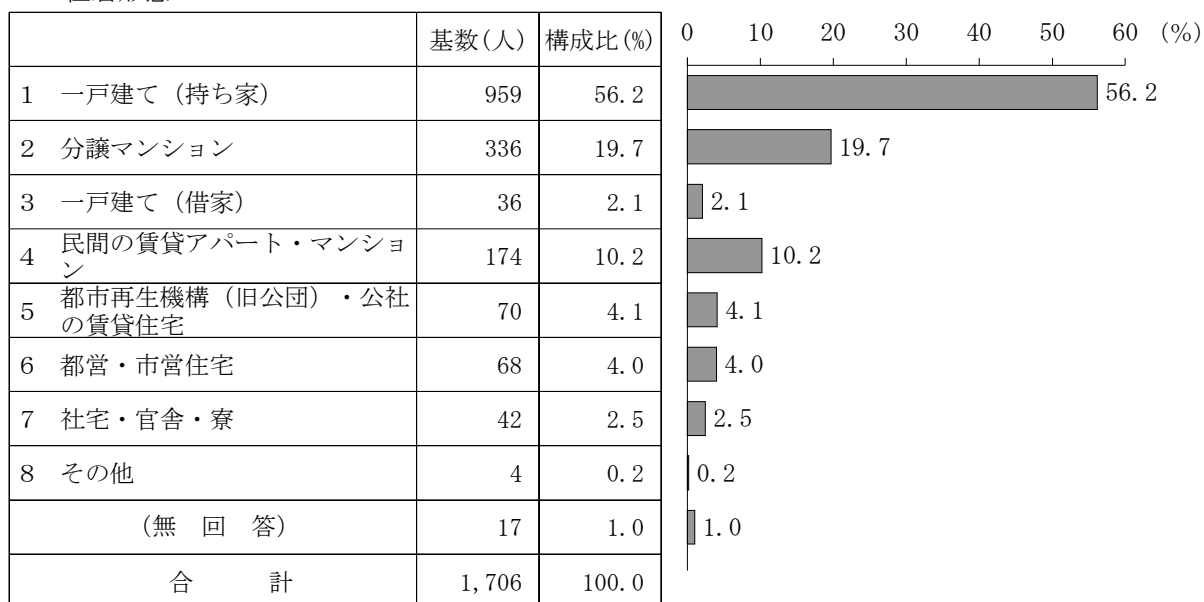
7 職業



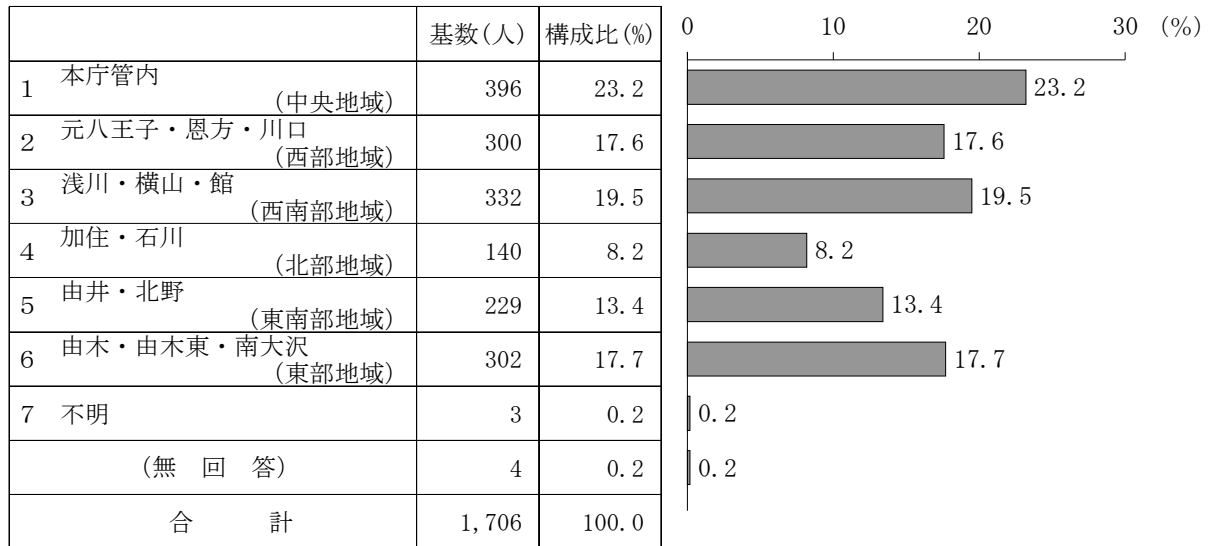
7-1 仕事場



8 住居形態



9 居住地域



10 町会や自治会の加入状況

